

明治学院大学法学部
学術講演会

テーマ「気候変動への適応—その法的諸相」

The Legal Dimensions of Climate Change Adaptation



講演者 **ダニエル・ファーバー教授**

(カリフォルニア大学バークレー校ロースクール)

環境法・憲法

Daniel A. Farber

Sho Sato Professor of Law, University of California, Berkeley

通訳：**辻雄一郎准教授**（筑波大学）

日時：2013年12月12日（木） 16:45～18:15（5限）

場所：明治学院大学白金校舎 3101教室

内容：人間の産業活動・生活から排出される温室効果ガスによる気候変動の結果、干ばつが深刻化する地域では人の居住・農業生産の放棄、変更を余儀なくされる水問題が発生している一方、大規模な台風やハリケーン、集中豪雨による洪水が近年多発しています。11月の巨大台風では、フィリピンでの死者1万人を超すと推計されています。気候変動による人間生活への影響はすでに現実のものとなり、各国政府にその対応が迫られています。

ファーバー先生は、2005年アメリカ南部沿岸を襲い深刻な損害をもたらしたハリケーン・カトリーナをきっかけとして「災害と法」の研究をリードされており、アメリカ環境法、憲法の主導的研究者です。今回は、気候変動への「適応」という観点から、洪水、高潮などへの直接的な対策、土地利用の変更等の社会的・法的問題についてお話をいただきます。各国内の法的問題だけではなく、費用負担や援助をめぐる国際的な視点からの議論も伺えると思います。

環境問題、災害をめぐる社会問題に関心がある方に限らず、大学で法律、政治、社会について学ぶすべての方にとってのお話が伺える貴重なチャンスです。是非ふるってご参加ください。

* 国連大学提携講座「持続可能な社会に向けて」（天野路子先生）の授業内に行われます。

上記科目履修者以外の法学部生、他学部生、大学院生の方も聴講できます。

問い合わせ先
・交通アクセス

明治学院大学法律科学研究所

〒108-8636 港区白金台1-2-37

TEL 03-5421-5209

明治学院大学法学部 阿部満

abe@law.meijigakuin.ac.jp

